

第1回災害警戒本部情報連絡会議次第

平成27年9月15日(火) 10時00分～

災害対策本部室(県庁行政棟新館10階)

1 開会

2 阿蘇山の噴火状況等について 資料1

3 被害状況について

9月14日 17時30分現在 人的及び住家の被害報告なし

9月15日 7時00分現在 人的被害の報告なし

4 阿蘇山噴火に対する本県及び市町村等の対応について

【県の対応】

9月14日

10時00分 上益城地方災害警戒本部設置(上益城地域振興局)

10時10分 県災害警戒本部設置

10時30分 阿蘇地方災害警戒本部設置(阿蘇地域振興局)

11時00分 県災害警戒本部会議(第1回)

13時30分 県災害警戒本部会議(第2回)

14時00分 上益城地方災害警戒本部会議(第1回)

16時00分 阿蘇地方災害警戒本部会議(第1回)

18時00分 県災害警戒本部会議(第3回)

【市町村等の対応】

資料2のとおり

5 各部局における対応状況等について

6 その他

阿蘇山の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

<噴火警戒レベル3（入山規制）が継続>

中岳第一火口では、本日（14日）09時43分に噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上2,000mまで上がりました。

本日、九州地方整備局の協力により実施した上空からの観測では、中岳第一火口周辺で変色域が認められ、南東方向に約1.3km、北東方向に約1.0km広がっているのを確認しました。また、赤外熱映像装置¹⁾による観測では、変色域でやや温度の高い領域を確認しました。これらの領域は火砕流の痕跡の可能性があります。

今後も同程度の噴火が発生する可能性があります。

【防災上の警戒事項等】

火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

・噴火の状況（図1、図2）

阿蘇山の中岳第一火口では、本日09時43分に噴火が発生しました。弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口周辺に飛散するのを確認しました。噴火は現在も継続中です（21時現在）。

・火口及び火口周辺の状況（図1～図3）

本日、九州地方整備局の協力により、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が上空からの観測を実施しました。中岳第一火口周辺で変色域が認められ、南東方向に約1.3km、北東方向に約1.0km広がっているのを確認しました。また、赤外熱映像装置による観測では、変色域でやや温度の高い領域を確認しました。これらの領域は火砕流の痕跡の可能性があります。火口内の状況は噴煙のため不明ですが、乳白色の噴煙が最高で火口縁上800mまで上がっているのを確認しました。

・降灰の状況（図4）

本日実施した現地調査及び聞き取り調査によると、火口より西側の熊本県北部から福岡県の一部で降灰を確認しました。

- 1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、九州大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。

阿蘇山 中岳第一火口周辺の状況

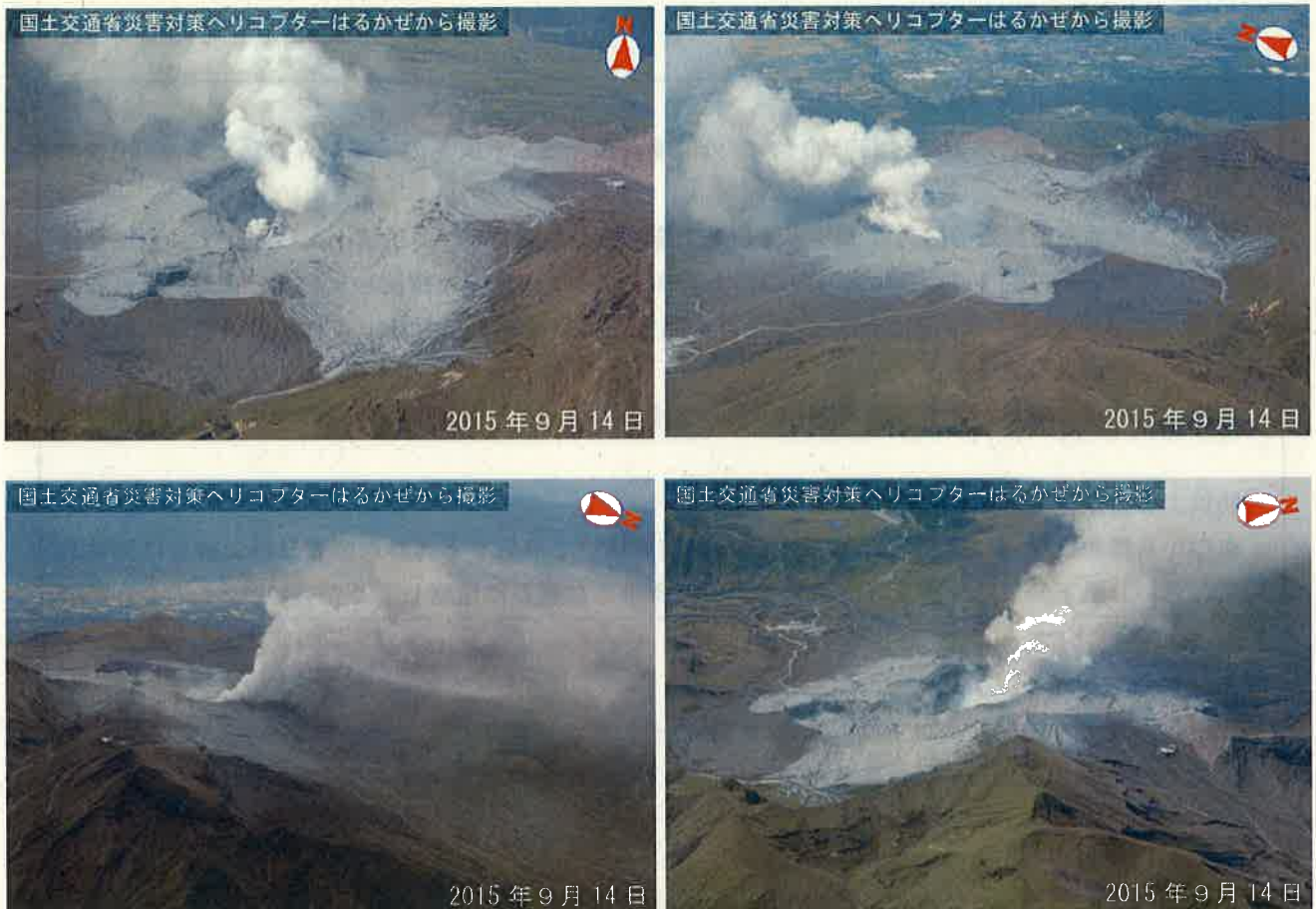


図1 阿蘇山 中岳第一火口付近の状況

火口周辺で変色域が認められ、南東方向に約 1.3km、北東方向に約 1.0km 広がっているのを確認しました。

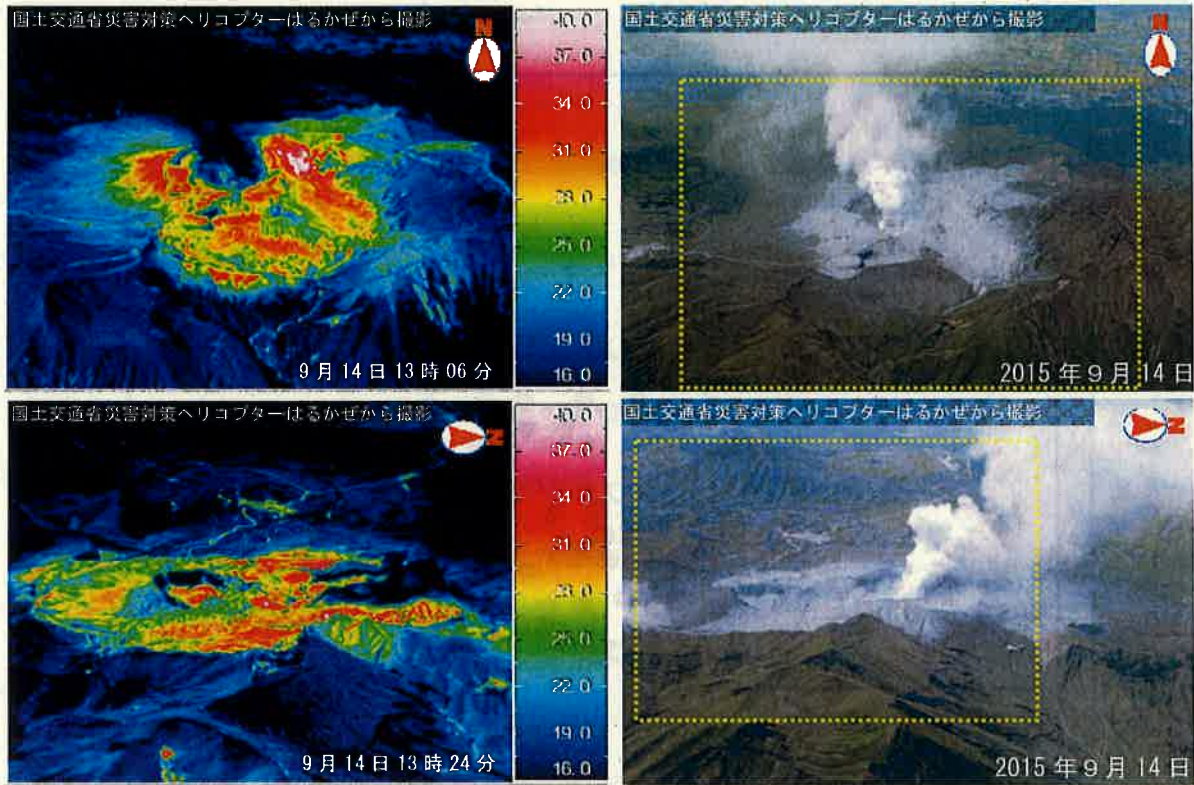


図 2 阿蘇山 中岳第一火口付近の状況
(右写真の黄色破線は熱画像の撮影範囲を示しています。)
火口周辺でやや温度の高い領域を確認しました。



図 3 阿蘇山 火口周辺の変色域
中岳第一火口周辺で変色域が認められ、南東方向に約 1.3km、北東方向に約 1.0km 広がっているのを確認しました。

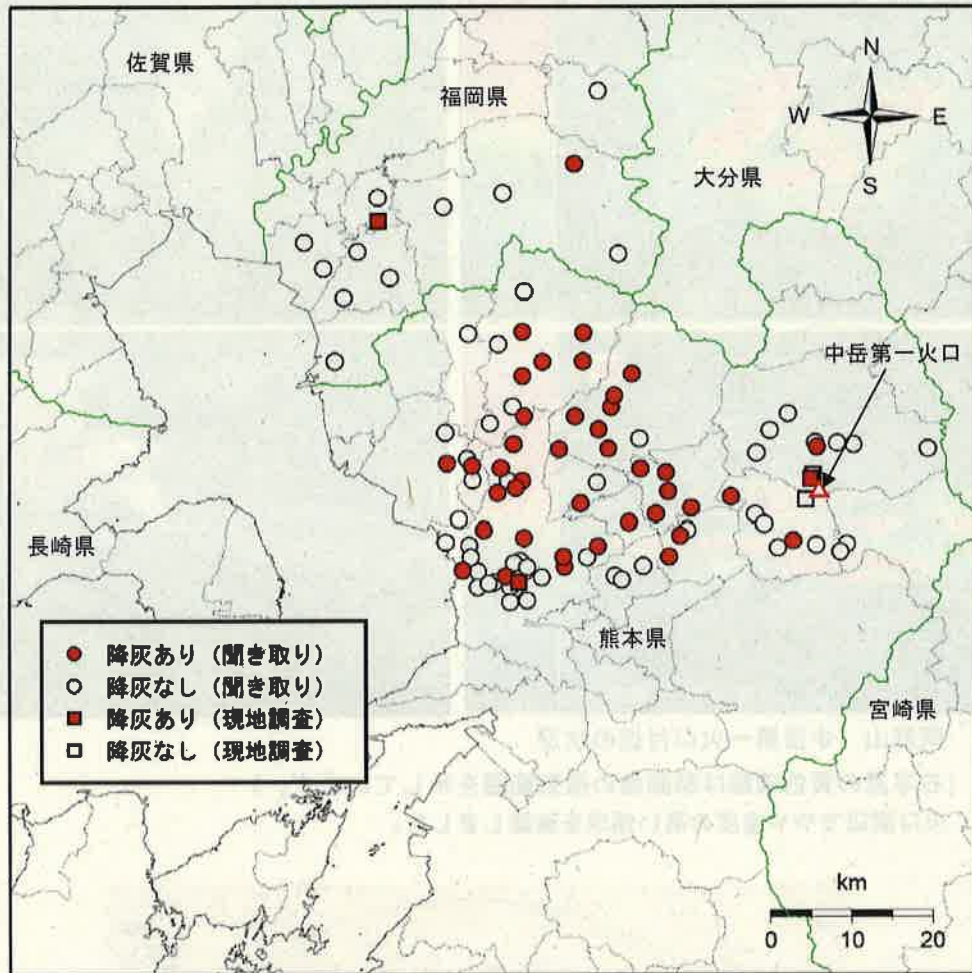


図 4 阿蘇山 降灰の状況

本日実施した現地調査及び聞き取り調査によると、火口より西側の熊本県北部から福岡県の一部で降灰を確認しました。

各市町村の対応状況

阿蘇火山防災会議協議会

平成27年9月15日 9:00

第3回会議開催

会議概要

各関係機関からの現状報告がなされた。

- ・ 宿泊状況のキャンセル状況について、阿蘇市の44施設のうち23施設において101件のキャンセルが発生。
- ・ 環境省において、登山口での立ち入り規制の周知を実施している。
- ・ 県警において、草千里に9:00～17:00まで移動交番を設置。
- ・ 次回会議は13:00開催予定。

等について報告がなされた。

報告（災害関係／進捗状況報告）

平成27年9月14日
商工振興金融課

阿蘇山噴火に伴う中小企業向け相談窓口の設置について

本日の阿蘇山噴火による噴火警戒レベルの引き上げに伴い、経営活動等への影響を受ける中小企業からの相談に対応するため、相談窓口を阿蘇地域から県下全域に拡大して設置することについて商工団体に要請しましたので、御報告します。

- 1 設置期間 平成27年9月15日から当分の間
- 2 設置場所 ・ 県内49商工会、9商工会議所
(このうち阿蘇地域の7商工会については平成26年12月に設置済)

(参考)

- ・ 熊本県商工会連合会 (H26年12月に設置済)
- ・ 熊本県中小企業団体中央会 (H26年12月に設置済)

担当者

商工振興金融課 楠本、宮田 (内線 5122)

【配付先】 知事、副知事、知事公室長、総務部長、企画振興部長、
農林水産部長、土木部長、商工観光労働部長

第4回災害警戒本部会議資料

平成27年9月15日（火） 10時～

道路保全課

- 1 県管理道路（県道阿蘇吉田線、県道阿蘇公園下野線）において交通規制を実施（9月14日 10:10～）
- 2 九州地方整備局熊本河川国道事務所から、リエゾンの派遣
- 3 阿蘇地域振興局土木部で県管理道路の降灰状況調査
- 4 九州地方整備局から、路面清掃車2台が到着（14日午後）
本日9時から、県道阿蘇吉田線、阿蘇公園下野線の2路線について、土木部で用意した清掃車を含め合計3台で、約15.5kmの清掃活動実施
- 5 阿蘇管内の道路情報提供装置（電光表示板）3基に「阿蘇山頂付近通行止」と表示

阿蘇山の噴火に伴う公共交通機関等の状況について

- 阿蘇山の噴火に伴う火山灰の影響により、阿蘇くまもと空港の離発着への影響などが発生しています（空港はオープンしています）。
- 9時30分現在の運航状況は以下のとおりです（※便数は片道換算）。
 - 9月14日（全82便）
 - （他空港へダイバート） 2便 [到着2便]
 - （欠航） 22便 [出発11便・到着11便]
 - 9月15日（全82便）
 - （欠航） 3便 [出発3便]
- 路線バス等については、九州横断バス（別府～熊本）、阿蘇火山線、阿蘇定期観光バスが、迂回運行・折返し運行を行っています。
- 鉄道については、噴火に伴う運休等は、今のところありません。

【運航状況の詳細（9時30分現在）】

- 9月14日 [出発・到着各41便]
 - 1) ANA [出発・到着各15便]
 - ダイバート 2便（到着2便【羽田線1便・伊丹線1便】）
 - 欠航 14便（出発7便【羽田線3便・伊丹線3便・中部線1便】
到着7便【羽田線3便・伊丹線3便・中部線1便】）
 - 2) JAL [出発・到着各12便]
 - 欠航 4便（出発2便【羽田線2便】、到着2便【羽田線2便】）
 - 3) ソラシド [出発・到着各5便]
 - 欠航 2便（出発1便【羽田線1便】、到着1便【羽田線1便】）
 - 4) アシアナ [出発・到着各1便]
 - 欠航 2便（出発1便【ソウル線1便】、到着1便【ソウル線1便】）
- 9月15日 [出発・到着各41便]
 - 1) ANA [出発・到着各15便]
 - 欠航 2便（出発2便【羽田線1便・伊丹線1便】）
 - 2) ソラシド [出発・到着各5便]
 - 欠航 1便（出発1便【羽田線1便】）

【路線バス等の運行状況】

- 1) 九州横断バス（別府～熊本）：
「草千里（阿蘇火山博物館）」・「阿蘇山西駅」を停車せず、迂回運行
迂回しているのは、阿蘇山頂付近のみで、熊本駅-熊本空港-阿蘇駅-黒川温泉-由布院-別府方面は通常運行
- 2) 路線バス：
「阿蘇火山線」「阿蘇定期観光バス」は、草千里で折返し運行
- 3) JR豊肥本線：通常運行
- 4) 南阿蘇鉄道：通常運行